

2015 年度「研修会報告」 No.1

◆2015 年度「（会員相互）研修会」計画

回	開催日	進行役	テーマ	参加者
1	5月24日（日）	望月敏子さん	敬語をどう教えるか	14名
2	7月18日（土）	研修委員会	レッスンの悩み、みんなで解決します！	
3	9月12日（土）	長阪たか子さん	漢字指導について	
4	11月	研修委員会	みんなで共有ーレッスンの工夫！ 第2弾	

◆ 研修会報告 ◆



(1) 新人研修会：5月16日（土）

相談役の望月敏子さん宅に新会員3名が集まり、新人研修会が行われました。

まずは、新会員さんの「これが知りたい」という質問から。入会后すぐに受講者が決まった方からは切実な質問が、一方、レッスンのイメージがつかめないという方も。そこで、望月さんから、カレンダーを使って数字を学習する時、「どのように教えますか」と質問が飛びます。それを皆で話し合いながら、「日本語の学習支援」についてイメージを高めていきました。さらに、テキストの見方、使い方についてのお話や、お勧めのテキストも紹介していただきました。

2時間があっという間に過ぎ、今後も定期的に集まって研修することになりました。次回からは『はなしてみる甲斐』をテキストとして、課を追いながらレッスンの進め方について学び合います。

『はなしてみる甲斐』とは、会員有志が2年間かけて作成した入門者用のテキストです。250冊を完売、現在、在庫がありません。現時点では増刷の予定がないため、ご希望の会員さんにはコピー対応でお貸ししています。事務局にご連絡ください。

(2) 第1回研修会：5月24日（日）14名参加



今回のテーマ「敬語」は、会員さんから特に要望の強かったものです。相談役の望月敏子さんを進行役にワークショップ形式（2名あるいは4名のグループで話し合う）で学びました。

学んだ項目は、①待遇表現としての「敬語表現」、②敬語の種類と働き、③丁寧体と普通体、④敬語動詞、⑤二重敬語、⑥「ウチとソト」、⑦「お」と「ご」の使い分け、でした。また、敬語をめぐる話題も尽きませんでした。

★参加者から出た話題より

- 「これでよろしかったでしょうか」、「カバーおかけしますか」、「お時間ございますか」などの表現に、違和感を持つ層もあれば、気にならない層もある。

→6割が許容するようになると、辞書に採用されるそうです。



- テレビのバラエティ番組に出演している若手の大半が「おとうさん、おかあさん」と連呼している。若者への悪影響が心配だ。

→「ウチとソトの概念が変わってきているのではないか」との意見も出ました。

- 「大地震」の読み方は「だいじしん」なのか、「おおじしん」なのか？

→NHKは「おおじしん」で統一しているそうです。また、広辞苑には「だい」と「おお」の使い分けの説明が書かれていました。

研修会終了後、今年2月よりタイの大学で教えている村松通久さんに（一時帰国中）、タイ事情を聞く機会に恵まれました。項目のみ紹介します。

①タイの気候（4月～5月が最も暑い） ②タイの大学について（3学期制、担当しているクラスのこと） ③タイにおける「僧侶、王様、軍、経済界」の関係 ④バンコクには日系企業が多く進出している（日本人4万人） ⑤バンコクは治安が良く、タクシーもメーター制で安心（値段交渉の必要なし） ⑥バンコクと地方の格差、等。いずれ、まとめて報告していただく予定です。

（写真：村松、報告：稲谷）